

高二 古文

第四回 小テスト

出題範囲

古文単語

330

46 から 60

注意事項

- ① 質問があれば高木まで。
- ② 終了したならば、
提出して帰る。
- ③ 私語・カンニングは未受験。



STUDY COLLABO®

単語・文法小テスト

氏名

点数

① 次の傍線部の口語訳として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 人々の、花、蝶やとめづるこそ、はかなくあやしけれ。(堤中納言物語)

- ① 持ち上げる ② 愛する ③ 心を移す ④ ほめる

1 ()

2 初心の人、二つの矢を持つことなかれ。後の矢を頼みて、初めの矢になほざりの心あり。(徒然草)

- ① 温存して ② あてにして ③ 大事にして ④ 気にして

2 ()

3 さらに人に交はることなし。(徒然草)

- ① ほとんどくない ② あまりくない ③ まったくくない ④ それほどくない

3 ()

4 聞こえぬことも言ひつつよろめきたる、いとかはゆし。(徒然草)

- ① 納得できない ② 理解できない ③ 表現できない ④ 説明できない

4 ()

5 女、いと悲しくて、しりに立ちて追ひ行けど、え追ひつかで、清水のある所に伏しにけり。(伊勢物語)

①追いつくことができても ②追いつけそうもなく ③追いつくことができず ④追いつくことが大変で

6 ならばぬ鄙の住まひこそ、かねて思ふも悲しけれ。(平家物語)

- ①慣れない ②好まない ③知らない ④感じない

7 いかでさることは知りしぞ。(枕草子)

- ①本当に ②もう ③どうして ④いつから

8 下簾の狭間の開きたるより、この男まもれば、わが妻に似たり。(大和物語)

- ①調べる ②眺める ③訪ねる ④見つめる

9 とりどりに物の音ども調べあはせて遊び給ふ、いとおもしろし。(源氏物語)

- ①趣を変え ②言い騒ぎ ③管絃を楽しむ ④ふざけ合い

9 〔 〕

8 〔 〕

7 〔 〕

6 〔 〕

5 〔 〕

10 あはれ今年の秋もいぬめり（千載和歌集）

①過ぎ去る

②感じる

③過ぎす

④やって来る

10

∧

∨

